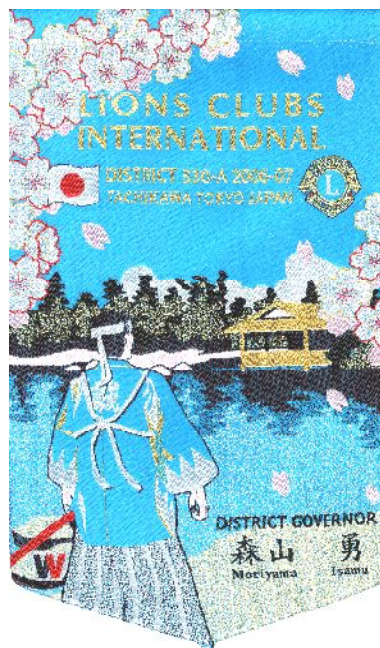


<2006—2007年度>

第4回
キャビネット会議
資料集
【 1 】



2007年6月18日（月）

東京プリンスホテル

ライオンズクラブ国際協会

330-A地区

ライオンの現勢

世界のライオンズ（２００７年３月末日現在）

ライオンズ国および領域	２００
クラブ数	４４，９１６クラブ
会員数	１，３０８，１２７名

日本のライオンズ（２００７年３月末日現在）

＜ ３３０－３３７地区 ＞

クラブ数	３，４０４クラブ	（期首 ２００６／０７／０１ クラブ数	３，４１６クラブ	１２クラブ減）
会員数	１１９，５１６名	（期首 ２００６／０７／０１ 会員数	１２４，９９９名	５，４８３名減）

＜ ３３０複合地区 ＞

	クラブ数	会員数		
３３０－Ａ地区	２０７	５，５１７名	（期首 ２０７クラブ ５，４９９名 １８増）	２００７年４月末日現在
３３０－Ｂ地区	１９３	５，７２３名	（期首 １９１クラブ ５，６９４名 ２９増）	２００７年４月末日現在
３３０－Ｃ地区	１０４	２，９３５名	（期首 １０６クラブ ２，９１６名 １９増）	２００７年４月末日現在
計	５０４	１４，１７５名		

＜ ３３０－Ａ地区内ライオネス・クラブ ＞ （２００７年４月末日現在）

クラブ数	２クラブ
会員数	３２名

＜ ３３０－Ａ地区内レオ・クラブ ＞ （２００７年４月末日現在）

クラブ数	３クラブ
会員数	７０名

※国際大会日程

- 第90回 2007年7月2日～6日
 (イリノイ州シカゴ、マザーシティ)
- 第91回 2008年6月23日～27日
 (タイ、バンコク)
- 第92回 2009年7月6日～10日
 (ミネソタ州、ミネアポリス)
- 第93回 2010年6月28日～7月2日
 (オーストラリア、シドニー)

※OSEALフォーラム

- 第46回 2007年10月12日～15日
 韓国、大邱 (テグ) (MD355)
- 第47回 2008年
 香港 (MD303)
- 第48回 2009年
 タイ、バンコク (MD310)

2007～2008 年度 決定事項

- 〈1〉 国際会長テーマ Lマヘンドラ・アマラスリヤ
「」
- 〈2〉 330—A 地区 アクティビティ・スローガン
「感動の共有」
- 〈3〉 ガバナーズ・スローガン
「奉仕活動を通して得る感動こそ会員の絆」
- 〈4〉 ガバナーズ・テーマ
「ライオンズクラブに何故入会したかを振り返り、奉仕活動
から得られる素晴らしい感動を、全てのメンバーと享受したい」
- 〈5〉 ガバナー・カラー
「 紺 （大日本インキ化学工業 — D I C 2 2 4）」

○国際大会・OSEAL フォーラム

第 91 回国際大会	2008 年 6 月 23 日～27 日	タイ・バンコク
第 46 回 OSEAL フォーラム	2007 年 10 月 12 日～15 日	MD355 韓国・大邱 (テグ)

○年次大会

330-A 地区第 54 回年次大会	2008 年 4 月 19 日(土)	東京プリンスホテル
330-B 地区第 54 回年次大会	2008 年 4 月 6 日(日)	神奈川県民ホール
330-C 地区第 54 回年次大会	2008 年	
330 複合地区第 54 回年次大会	2008 年	

○キャビネット会議

第 1 回キャビネット会議	2007 年 8 月 2 日(木)	東京プリンスホテル
第 2 回キャビネット会議	2007 年	
臨時キャビネット会議	2008 年	
第 3 回キャビネット会議	2008 年	
第 4 回キャビネット会議	2008 年	

330-A地区第53回年次大会決議報告書

【代議員総会】

1. 2007-2008年度330-A地区ガバナー選出の件 (地区ガバナー提案)

〔決 議〕

東京荒川LC所属のL飯田善彦（いいだ よしひこ）が、ガバナーエレクトに賛成多数で選出された。

2. 2007-2008年度330-A地区副地区ガバナー選出の件 (地区ガバナー提案)

〔決 議〕

東京八王子陵東LC所属のL石井征二（いしい せいじ）が、次期副地区ガバナーに賛成多数で選出された。

【政策・会則・長期計画分科会】

1. 「ライオンズ総合事務所」に関する継続協議の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

趣旨説明がL清水治（総合事務所建設準備委員会委員長）からなされた上で審議し、原案通り協議、推進することが賛成多数により可決承認された。

2. シンポジウム

テーマ①「330-A地区内各クラブ活性化のための長期的展望に立った計画案について」

〔報 告〕

上記テーマについて活発な意見交換が行われ、いくつかのクラブの実例が報告されるなど、大変有意義なシンポジウムとなった。

テーマ②「今後整備すべき制度及び規定について」

〔報 告〕

女性参加に関する委員会、合併問題の研究に関する提案が多数なされ、活発な意見交換が行われた。

【経理・会計処理分科会】

1. 2006-2007年度330-A地区上半期会計報告書承認の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り賛成多数により可決承認された。

2. 2005-2006年度330-A地区会計報告書承認の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り賛成多数により可決承認された。

3. 2007-2008年度地区クラブ費として1クラブ1ヶ月3,000円拠出の件
(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

4. 2007-2008年度地区費として1メンバー1ヶ月440円拠出の件
(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

5. 2007-2008年度地区特別運営費として1メンバー当たり1ヶ月200円拠出の件
(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

6. 2007-2008年度地区大会費として1メンバー1ヶ月100円拠出の件
(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

7. 2007-2008年度地区特別大会費として1メンバー1ヶ月50円拠出の件
(副地区ガバナー提案)

〔決 議〕

原案通り可決承認された。

8. 2004-2005年度の会計処理の調査報告の件
(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

審議の結果、次期飯田ガバナー期において調査委員会を設け、調査を継続し結論を出すことが可決決定した。

9. 2005-2006年度の会計処理の調査報告の件
(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

議案2で審議の結果、可決承認された。

10. 未収入金（第52回年次大会決議による2002-2003年度の会計処理に関する解決金）の状況報告の件
(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

「第52回年次大会決議で、今井元ガバナーと村木元幹事が解決金（今井元ガバナー金210万円、村木元幹事金70万円）の支払をすることが決まっているのに、両氏は今日までその支払をしていない。決まったことを守らない両氏はライオンズメンバーとしてふさわしくない。よって今井元ガバナーと村木元幹事に退会を勧告する。」との動議が提出されたが採決はとらず、議事に記録することとなった。また、この件についての今後の取扱は森山ガバナーに付託された。

【会員・エクステンション・ＩＴ・ＰＲ分科会】

１．「２００７－２００８年度３３０－Ａ地区アクティビティ・スローガン決定」の件

〔決 議〕

東京荒川ＬＣ提案のスローガン「感動の共有」に決定した。

２．シンポジウム

テーマ①「会員増強のための方法論及び地区としての取り組み方」

〔報 告〕

上記テーマについて活発な意見交換が行われ、質の向上、若い会員の勧誘に関する多数の提案がなされ、大変有意義なシンポジウムとなった。

テーマ②「ライオンズクラブにおけるＩＴ推進の必要性」

〔報 告〕

上記テーマに関連して、「WMMR」「サバンナ」等に配慮し、慣れ親しむこと、また携帯電話による例会通知配信等、パソコン以外のインフォメーション・テクノロジーとも慣れることの必要性等について活発な意見交換がなされた。

【国際大会・緊急援助分科会】

１．「シンポジウム」

テーマ①「国際大会の意義」

〔報 告〕

日本ライオンズの出席代議員数が各国の代議員と比較して常に少ないため、この度８複合地区国際大会委員長会議の決議により、日本全国から８００名以上の代議員の上席を確保し、各自が投票権の権利と義務を行使するよう推進することについて改めて確認した。

テーマ②「３３０－Ａ地区としての緊急援助実施要綱について」

〔報 告〕

上記テーマに関連し、「東京直下型地震」による緊急災害への対処について活発な意見交換が行われ、大変有意義なシンポジウムとなった。

【アクティビティⅠ分科会】

１．３３０－Ａ地区「環境憲章」一部訂正の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

趣旨説明が環境保全委員会委員長Ｌ風間昭からなされたうえで審議し、「ライオンズクラブ国際協会３３０－Ａ地区は、われわれの子孫へ未来を継続するため、ライオンズの奉仕の精神に則り、各クラブ、メンバーが手をつなぎ、地球環境保全活動を推進するものとする。」と修正することが賛成多数により可決承認された。

2. アクティビティプログラム3ヵ年計画の一部変更の件

(地区ガバナー提案)

〔決 議〕

趣旨説明が環境保全委員会委員長L風間昭からなされたうえで審議し、「330-A地区環境保全問題アクティビティプログラムの3ヵ年計画」を「5ヵ年計画」と変更することが賛成多数により可決承認された。また上記案件に関連し、常設委員会を設置し単年度の活動ではなく継続的な活動とすることを提案することで意見が一致した。

3. 「シンポジウム」

テーマ①「CSFⅡの最終年度における取り組み方」

〔報 告〕

CSFⅡ(2005～2008)について、330-A地区の目標達成率は46%前後であり、目標達成のためには地区コーディネーター、グループ・コーディネーター、ゾーン・コーディネーターの皆様と共に組織を挙げて取り組むことが重要であること、また、各クラブにおいてはモデルクラブ、MJF献金の増強、チャリティーゴルフ、チャリティーコンサート、周年行事の記念事業、街頭募金活動の推進等に取り組む努力することが必要であることが確認された。

テーマ②「地球温暖化問題に関するライオンズクラブとしての取り組み方」

上記テーマについて活発な意見交換がなされ、環境保全の重要性を地域社会にPRしていくことが確認された。

【アクティビティⅡ分科会】

1. 「シンポジウム」

テーマ①「薬物乱用防止活動に関する今後の課題」

〔報 告〕

上記テーマに関連し、6/8薬物乱用防止全国大会の重要性、メンバーの参加推進、地域の子供たちを招待することが確認された。また、多くのメンバーが認定講師となり薬物乱用防止教室の実施を推進することが確認され、大変有意義なシンポジウムとなった。

テーマ②「YE活動における今後の課題」

〔報 告〕

YE委員会委員長L鷹箸貞夫より活動報告があり、熱のこもった意見交換がなされ大変有意義なシンポジウムとなった。

【アクティビティⅢ分科会】

1.「シンポジウム」

テーマ①「献血活動における今後の課題」

〔報 告〕

12R1Zゾーン・チェアパーソンL芦田公より献血活動についての話があった。また、献血・エイズ委員会委員長L吉田實より活動報告があり、上記テーマについて活発な意見交換が行われ、大変有意義なシンポジウムとなった。

テーマ②「骨髄移植・献眼・献腎のアクティビティ」

〔報 告〕

献眼・献腎・骨髄移植推進委員会委員長L矢部正二より活動報告があり、上記テーマに関連し骨髄移植への理解、また各協会への協力について活発な意見交換が行われ、大変有意義なシンポジウムとなった。

以 上

2006～2007年度330-A地区レベルにおける
地区年次大会、周年行事、チャーター・ナイト、公式訪問等のプロトコール

1. 国際会長
2. 前国際会長
3. 国際副会長（地位の順）
4. 国際理事（国際理事会アポインティ）
5. 元国際会長
6. 元国際理事
7. 複合地区協議会議長
8. 地区ガバナー
9. C S F II ナショナル・コーディネーター、MD／セクターコーディネーター、地区コーディネーター、グループ・コーディネーター
10. 協会事務総長
11. 協会幹事
12. 協会会計
13. 元協議会議長
14. 前地区ガバナー
15. 副地区ガバナー
16. 元地区ガバナー
17. 複合地区幹事（ボランティア）
18. 複合地区会計（ボランティア）
19. キャビネット幹事
20. キャビネット会計
複合地区委員長・複合地区監査委員・
複合地区副委員長・複合地区委員
21. リジョン・チェアパーソン
22. ゾーン・チェアパーソン
23. 地区委員長・地区監査委員・地区キャビネット副幹事・
地区副委員長・地区委員
24. クラブ会長
25. 前クラブ会長
クラブ副会長
26. クラブ幹事
27. クラブ会計
28. 元クラブ会長
29. 複合地区幹事（職員）
30. 複合地区会計（職員）

※2006年10月北京で開催された国際理事会決議事項でのプロトコールの改訂に準じて改訂

分科会議案

(A) 政策・長期計画、会則・会員、会員増強、エクステンション分科会

議案1.複合地区会則改正に関する件

(ガバナー協議会議長提案)

〔決議〕 改正案通り可決承認された。

議案2.国際理事立候補者推薦手続規則改正に関する件

(ガバナー協議会議長提案)

〔決議〕 改正案通り可決承認された。

議案3.国際第2副会長立候補者推薦手続規則改正に関する件

(ガバナー協議会議長提案)

〔決議〕 改正案通り可決承認された。

〈シンポジウム〉

1.330複合地区発展のための長期に亘る計画案について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 中・長期的には地区分割を検討すべきである、長期在籍会員による後進の指導の指導のための方策を検討すべきである等、有意義な提言が多数なされ、また関連して活発な意見交換がなされた。

〈シンポジウム〉

2.複合地区ガバナー協議会構成員(議長・副議長・幹事・会計)の選出方法について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 複合地区の融和を考慮し、A・B・C各準地区のローテーションを基本とし、また、各準地区の事情を理解して選出することが望ましいとの意見で一致した。

〈シンポジウム〉

3.会員数の純増加を図るための諸施策について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 A・B・C各準地区でアンケートを実施し、意見聴取を行なうなどの提言があり、活発な意見交換がなされた。

〈シンポジウム〉

4.ライオンズクラブ発展のための新クラブの結成に関する330複合地区としての諸施策について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 クラブのエクステンションの方法論として、年会費の考慮、大学の同窓や趣味の会の活用等の提言があり、貴重な意見交換がなされた。

（Ｂ）指導力育成・交通対策、緊急援助分科会

〈シンポジウム〉

1.複合地区と準地区との委員会統一性について

（ガバナー協議会議長提案）

〔報告〕 複合地区と準地区の委員会は統一すべきであるとの意見で一致した。

〈シンポジウム〉

2.準地区の委員長が複合地区委員会委員を兼務することについて

（ガバナー協議会議長提案）

〔報告〕 準地区の委員長は、複合地区委員会委員を兼務すべきであるとの意見で一致した。

〈シンポジウム〉

3.指導技能を向上させるための諸施策について

（ガバナー協議会議長提案）

〔報告〕 現況報告と熱心な意見交換がなされた。

〈シンポジウム〉

4.「緊急援助実施要綱」の具体的行動について

（ガバナー協議会議長提案）

〔報告〕 東京直下型大地震について資料配布後、活発な議論がなされ、貴重な意見が多数出された。

（Ｃ）青少年育成・ライオンズクエスト、薬物乱用防止、ＹＥ分科会

〈シンポジウム〉

1.低年齢層による犯罪防止に対するライオンズクラブとしての対施策について

（ガバナー協議会議長提案）

〔報告〕 ライオンズクエストプログラムを、330複合地区内の各中学校に導入する活動を実施する事が将来の日本を支える青少年の健全育成に大いに寄与する等の提言があり、その他貴重な意見交換がなされた。

〈シンポジウム〉

2.「薬物乱用防止全国大会」開催への協力方法について

（ガバナー協議会議長提案）

〔報告〕 薬物乱用防止全国大会に関する概要説明があった後、参加者をもっと青少年中心にすべきである、今後の薬物乱用防止活動のスタートとして活用すべきである、テレビ放映によりライオンズクラブの全国的PRになる等多数の意見が出された。

〈シンポジウム〉

3.YEの現況と今後の活動方法について

（ガバナー協議会議長提案）

〔報告〕 Y E についての現況説明の後、種々の提言がなされ、活発な意見の交換がなされた。

(D) LCIF・CSFⅡ、IT・PR情報分科会 〈シンポジウム〉

1.CSFⅡの目標額達成のための活動方法について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 配布資料に基づいて、CSFⅡの現在までの実績及び現況についての説明がなされた後、A地区、B地区への更なる支援の要請、会員増強も含めた方法論の検討等、有意義な意見が多数出された。

〈シンポジウム〉

2.ライオンズクラブにおける新たなITの活用方法について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 プロジェクターにより、330複合地区及びA・B・C各準地区のホームページ、ライオン誌ウェブマガジン、国際本部ホームページの紹介が行なわれ、各ホームページの活用方法、サバンナの活用等に関し解説と討議が行なわれた。

(E) レオ・ライオネス・女性参加、環境保全・社会福祉分科会 〈シンポジウム〉

1.女性会員増加、特に地域社会で活躍している女性にライオンズクラブの活動に参加願うための諸施策について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 男性側の理解の必要性、準地区内の女性参加委員会の設置、女性でなければ出来ない奉仕活動への参加目標を設定しての活動の必要性等、多くの提言と活発な討議が行なわれた。

〈シンポジウム〉

2.330複合地区「環境憲章」の策定について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 A地区において第51回年次大会で採択された「環境憲章」を複合地区でも討議し来期の年次大会で、330複合地区の「環境憲章」の採択を決議事項としたい、またこれを全国に広めていきたいとのことで意見が一致した。

(F) 国際理事支援、国際大会、国際協調・モンゴル友好分科会 〈シンポジウム〉

1.国際理事支援のための長期的展望にたった諸施策について

(ガバナー協議会議長提案)

〔報告〕 330複合地区から国際理事を輩出するための活動及び国際理事の活動を側面から補佐する資金的、人的組織の設置の必要性等について、多くの提言がなされ、活発な討議がなされた。

〈シンポジウム〉

2.国際大会参加の意義について

- 〔報告〕 第90回シカゴ国際大会への出席現況の報告の後、国際協会会員の自覚と誇りを実感できる国際大会に多数参加すべきであると同意する意見、また国際大会には、フラッグセレモニーがあるが、多くの国のライオンズが国旗を掲げていることから、日本ライオンズも国旗を自席に或いは応援に高く掲げ存在感を示すべきであると強調された。

〈シンポジウム〉

3.モンゴルにおけるライオンズクラブ発展のための、協力、友好について

(ガバナー協議会議長提案)

- 〔報告〕 モンゴル友好の由来と現在の活動状況、及びモンゴルにおけるライオンズクラブの現況について報告があった後、質疑応答と活発な意見交換がなされた。

(G) 献眼・献腎、献血・骨髄移植分科会

〈シンポジウム〉

1.献眼・献腎推進に関し、複合地区としての準地区、単一クラブとの協力方法について

(ガバナー協議会議長提案)

- 〔報告〕 献眼登録人数と実際の献眼の実数との乖離に関して、その解消方法について、多数の有意義な提言がなされ、また、活発な意見交換が行なわれた。

〈シンポジウム〉

2.献血推進並びに骨髄移植に関し、複合地区としての準地区、単一クラブとの協力方法について

(ガバナー協議会議長提案)

- 〔報告〕 登録説明員の養成の必要性及び献血の委員会と骨髄移植の委員会の統合の必要性等について、有意義な意見交換がなされた。

(H) 経理分科会

議案1.下記の会計報告を承認願いたい

(ガバナー協議会議長提案)

(A) 330複合地区関係

- ①2005～2006年度330複合地区会計報告
- ②2006～2007年度上半期330複合地区会計報告

(B) ライオン誌日本語版事務所関係

- ①2005～2006年度ライオン誌日本語版事務所会計報告
- ②2006～2007年度上半期ライオン誌日本語版事務所会計報告

(C) 日本ライオンズ連絡事務所関係

- ①2005～2006年度日本ライオンズ連絡事務所会計報告
- ②2006～2007年度上半期日本ライオンズ連絡事務所会計報告

- 〔決議〕 各会計監査委員の監査結果を確認したうえ、上記の会計報告は可決承認された。

(2006—2007 年度)

第 9 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録

◎ 日 時: 2007 年 4 月 9 日(月) 13:30-17:00

◎ 会 場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)

◎ 出席者: 330 複合地区協議会議長 中 村 保 彦 [欠席]
331 複合地区協議会議長 桶 谷 賢 知
332 複合地区協議会議長 杉 山 正 夫
333 複合地区協議会議長 鈴 木 正 二
334 複合地区協議会議長 高 田 順 一
335 複合地区協議会議長 高 橋 祥 治
336 複合地区協議会議長 永 井 義 夫
337 複合地区協議会議長 井野邊 義 一

国 際 理 事

伏 見 龍

国 際 理 事

山 田 實 紘

国 際 理 事

谷 野 徹

◎ 議 事:

1. 国際理事会報告

2007 年 3 月 18 日から 22 日まで米国サンアントニオで行われた国際理事会について、各国際理事から報告があった。視力ファーストⅡキャンペーンは約 40 億円を獲得したことやアマラスリヤ次期国際会長が主眼を置く会員増強のためには、入会金免除で国際会費半額のメリットのある家族会員が推奨されるとのこと。また、2012 年の国際大会は韓国の釜山市で開催されることが決まった。名古屋市については、あきらめずに再チャレンジしてほしいとの話であった。

2. 能登半島地震被害への支援

2007 年 3 月 25 日発生した能登半島地震(M6.9)被害状況について高田MD334 議長から説明があった後、被災地石川県を含む 334-D地区が災害支援金を受け付ける口座(*)を設けたとの報告あり。了承。高橋議長世話人の手紙を添えて、各議長宛に口座をお知らせすることにした。※会議後、支援金口座の案内が出された。

(*) 高岡信用金庫 広小路支店 普通預金 №0800784

「ライオンズクラブ国際協会 334-D地区 災害支援金 鷺山 浩一」
わしやまひろかず

3. 薬物乱用防止全国大会開催(MD330、333 提案)

(1) 鈴木MD333 議長から別紙 1 の収支予算案(2007 年 4 月 5 日作成)が出され、登録料のほかに広告料収入を見込んで作ったことが報告された。すでに各地区には広告掲載を依頼している。また、東京都台東区の中学生 715 人を招待している。

(2) 6 月 8 日(金)当日と前日の準備のため、全国大会運営委員会(鈴木康王委員長)を設置するとの報告が、鈴木議長からあり。全体の組織図は別紙 2 のとおり。

(3) 「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」に対する後援名義をお願いしたところ、厚生労働省、内閣府、警察庁から許可するとの通知(写し)が配られた。

4. Faculty Development Institute(講師育成研究会)について

3月15日から18日まで韓国ソウルで行われた講師育成研究会について、日本の講師を務めた高田MD334議長から報告あり。昨年第1回がタイのパタヤで行われ、ソウルは2回目の開催となったが、充実した内容で今回大変有意義なものとなった。日本からの受講生8名に対し、2名の講師が担当した。受講生は講師資格を得たことになるので、今後国際協会やMD主催のリーダーシップ研究会などで講師を務めることが期待されている。

5. CSF II セミナー開催のお願い

別紙3のとおり、4月3日付けCSF II 役員連名によるセミナー開催依頼文書(来日予定表添付)が出された。5月から7月にかけて、テーサップ・リー委員長、フランク・ムーア副委員長およびLCIF田辺課長が来日する。次期議長へ申し送ることにし、セミナー設営準備はCSF II コーディネーターが担当地区と相談して進める。

6. 第46回OSEALフォーラム・第1回ステアリング委員会報告

4月6日韓国テグで行われた第1回ステアリング委員会について、正規ステアリング委員として出席された高橋議長世話人から報告あり。日本に要請された参加努力目標数は5,000名と、過去の実績とはるかにかけ離れたものであり、テグまでの交通手段、宿泊ホテル、同時通訳手配などの諸問題をクリアできないと目標数に近づくことは大変困難であることをフォーラム委員長のウー元国際理事に伝えた。しかし今後、国際大会委員長連絡会議とも連携の上、日本としてもできる限りの努力をする。なお、第1回ステアリング委員会報告書は後日まとめられたものが出される。

7. 各委員長連絡会議報告

(1) 3月28日に行われた第5回複合地区国際大会委員長連絡会議要録が配られた。大会登録、代議員予備登録の全国集計、パレード構成(案)、投票証明書(見本)および大会日程を確認した。

(2) 第8回議長会議で西原会則世話人に修正を申し入れた「複合地区会則改定案」を再検討した。第5条4項の条文については、各議長から活発な意見交換がなされた。各議長の意見を集約し、今春の第53回複合地区年次大会への共通提案とするために、4項の条文は2番目の注釈に相当する文章を削除することを申し合わせた。修正部分は次のとおり。

第5条4. 地区ガバナー・エレクトは会合を開いて、現地区ガバナーおよび前地区ガバナーの中から、議長を選任または選出する。~~国際理事会方針として、複合地区は現地区ガバナーの中から次年度の議長を選ぶよう奨励されている。~~

トル

※会議後、西原会則委員長連絡会議世話人に会則改正案第5条4項の修正が伝えられ、了解された。各複合地区会則委員長には、西原世話人から連絡網が回った。

8. 『ライオン誌日本語版委員会』について

2007年2月21日付け「ライオン誌日本語版編集委員会」の砂田繁雄委員長から各議長へ郵送された書簡については、第8回ライオン誌日本語版委員会(3月8日)報告書上で、正式な回答文書であると確認され、さらに不明な点があれば補足説明する旨の記述あり。そこで、議長連絡会議としての意見をとりまとめて不明な点を問い合わせることとし、高橋議長世話人名で砂田委員長宛に3月30日付け質問状を出した。また、ライオン誌日本語版委員会構成員である国際理事のご意見も伺ったが、当議長連絡会議の見解とは異なるものだった。

9. その他

(1) ライオンズクラブ国際協会日本事務所(クラブ用品)の宝諸啓司所長が退職し、4月から谷口二郎所長が着任した。山田国際理事から谷口新所長の紹介が行われ、続いて谷口所長から挨拶と抱負が述べられた。

(2) 2月来日されたブランデル第二副会長夫妻に付き添われた国際理事の交通費については、上半期同様8MDでプール負担することを確認した。

(3) 財団法人日本アイバンク協会の所 敬理事長から高橋議長世話人宛に「角膜移植開始 50 周年献眼推進特別活動」に対する協力名義使用の許可についての書簡(3月26日付け)と寄附行為、パンフレットが出され、各議長に同じものが配られた。

(4) 財団法人ジョイセフ(家族計画国際協力財団)の近 泰男理事長から各議長宛に支援と協力への御礼(3月30日付け)が、使用済み切手やカード類の収集方法や活用の一覧および協力しているライオンズクラブの一覧とともに手渡された。

※第8回議長会議で追加希望を出したロス国際会長感謝状は、3月下旬に国際本部からまとめて届いたので、希望どおり各地区ガバナー宛に1準地区あたり15枚が配られた。

10. 次回(第10回)、引継ぎ、次期議長の会議

※次回(第10回)会議では次期への申し送りを確認することとし、同日引継ぎ会議を行う。引継ぎの後、高橋議長世話人が招集者となり、次期議長連絡会議を開いて次期世話人を互選する。

日 時	会議名	場 所	出席者
6月5日(火) 13:30-14:30	第10回議長連絡会議	日本ライオンズ連絡事務所(8階)	国際理事、現議長
同日 14:45-15:45	新旧議長の引継ぎ会議	パレスビルディング3階会議室	国際理事、現議長、次期議長
同日 16:00-17:00	次期議長連絡会議	日本ライオンズ連絡事務所(8階)	現議長会議世話人、次期議長

ライオンズクラブ国際協会330-337複合地区=全日本

「薬物乱用防止全国大会」

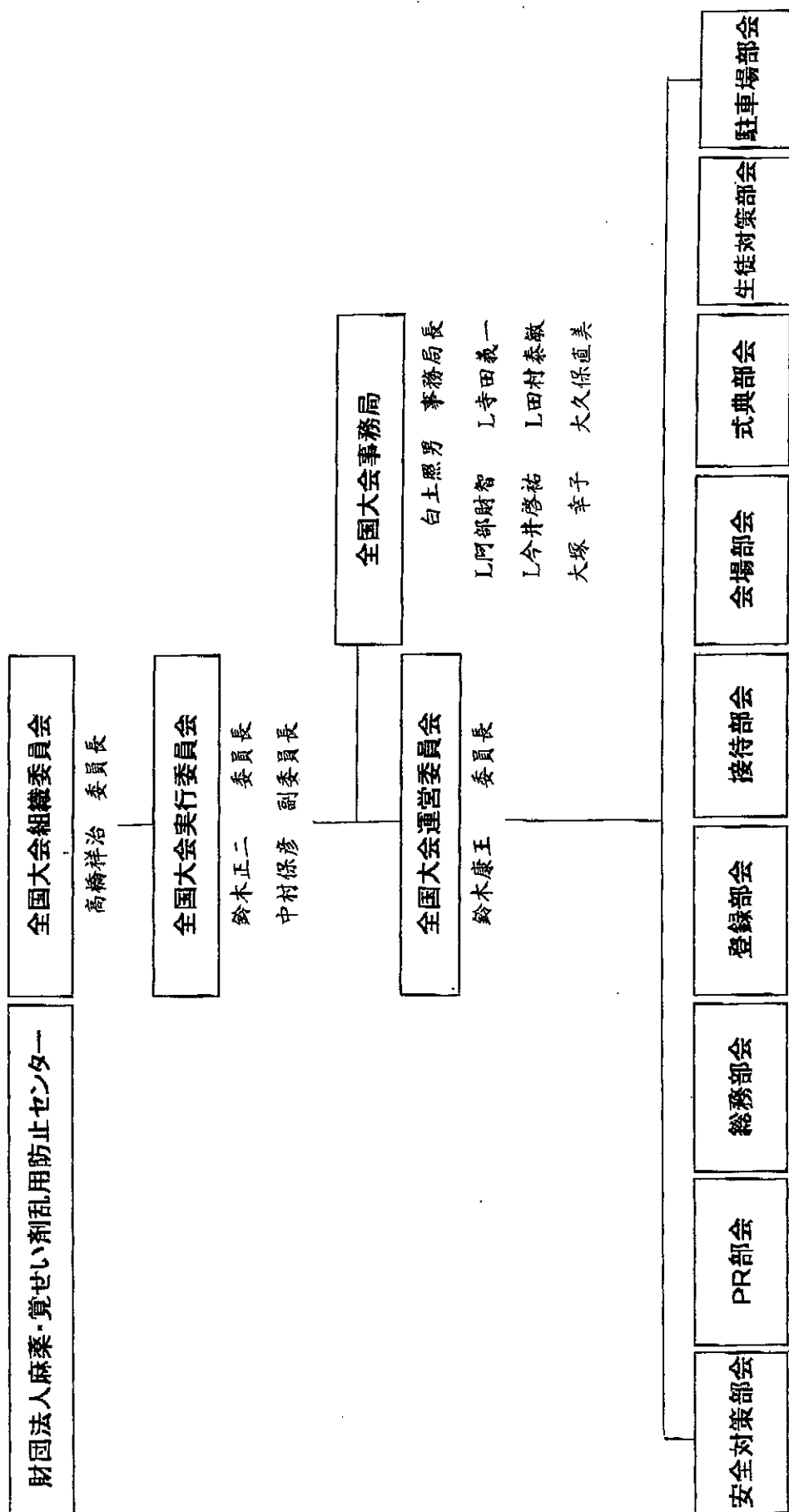
平成18年/2007年6月8日(金) 日本武道館

収 支 予 算 案

(作成日*2007. 4. 5)

収入の部	摘 要	金 額
会員登録料	@5,000×9,000名 (登録員数) 330=3500名、333=3000名 334=1000名、335=1000名 331・332・336・337=500名	45,000,000
広告料収入		5,000,000
青少年アクティビティ	1,000名無料招待(招待費は台東区内クラブ負担)	0
計		50,000,000

支出の部	摘 要	金 額
会場使用料	日本武道館(6/7、8の2日間・付帯施設使用料を含む)	10,000,000
会場設備費	舞台設備製作(看板等付帯設備を含む) 8,000,000 映像音響設備 6,000,000	14,000,000
アトラクション設備費	谷村新司・松浦あや・安藤なつみ(ボランティア出演) 舞台音響映像設備費 7,500,000	7,500,000
会場警備費	外注警備会社	1,000,000
招 聘 費 (旅費交通宿泊費)	国連関係者 1,500,000 国際協会役員(Jロス国際会長等) 1,500,000	3,000,000
旅費交通費	セミナー講師(2名) 200,000 認定講師発表者(8名) 400,000	600,000
公報広告費	ポスター @200円× 5,000枚=1,000,000 パンフレット@50円×30,000枚=1,500,000 報道関係 500,000	3,000,000
記録印刷費	記録・写真 1,500,000 記念誌・その他の印刷 5,000,000	6,500,000
会 議 費	実行委員会会議費 1,000,000 全国委員会会議費 800,000	1,800,000
通信諸雑費	事務通信費 800,000 事務職員(アルバイト)雑給 1,300,000 その他の雑費 500,000	2,600,000
計		50,000,000





2007 年 4 月 3 日

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

世話人 高橋 祥治 様

ライオンズクラブ国際協会 CSFⅡ

国際委員・元国際理事 福井 正憲

スペシャルアドバイザー 秦 三郎

ナショナルコーディネーター (V-1) 杉本 忠夫

// (V-2) 山浦 晟暉

// (V-3) 栢森 新治

// (V-4) 澁田 繁晴

CSFⅡセミナー開催のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

視力ファーストⅡキャンペーンに対しまして、多大のご理解ご支援賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、CSFⅡも次年度(2007-2008 年度)は 3 年間の最終年度を迎えます。世界から失明をなくそうという、視力ファーストプログラム実行に向けて、日本としての目標額を達成し、責任を果たしたいと、願っております。

そのため、年度早々(7 月)に、各ナショナルコーディネーター担当により、Dr.テーサップ・リー元国際会長 CSFⅡ国際委員長のセミナーを開催し、新年度の役員に任務、責任について熟知していただき、モチベーションを高め、最終年度の資金獲得に励みたいと願っております。

次年度のことでございますが、年度開始早々の 7 月 19 日からのセミナーを予定しておりますので、既にナショナルコーディネーターから現・次期議長、ガバナーにご連絡を取り準備を進めさせていただいております。地元にご負担をかけないようにと計画しておりますが、やはり、開催をお願いする地区ならびにご遠方からご参加等、何かとご迷惑をおかけすること、大変心苦しく思っておりますが、何分にも、この国際プログラムが成功するよう、是非皆様のご理解を賜りご協力をお願いしたいと存じております。

なにとぞ、皆様のご指導により、次年度にスムーズな引継ぎができますよう、そして、最終年度の目標が達成できますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具

添付文書:CSFⅡ国際役員 来日予定表(案)

CSFⅡ国際役員 来日予定表(案)

月日	テーサップ・リー 委員長	フランク・ムーア 副委員長	田辺課長	備考
5月15日 火		来日	来日	成田→福岡
5月16日 水		337-A地区行事		
5月17日 木		休養		
5月18日 金		札幌へ移動		
5月19日 土		331-A地区セミナー		
5月20日 日		331-A地区年次大会		
5月21日 月		離日	札幌→成田	札幌→成田
5月22日 火			ベトナム	
5月23日 水				
5月24日 木				
5月25日 金				
5月26日 土				
5月27日 日				
5月28日 月				
5月29日 火			再来日	
5月30日 水			336-C地区セミナー	
5月31日 木			未定	
6月1日 金			未定	
6月2日 土			未定	
6月3日 日			336-A地区セミナー	
6月4日 月			337-A地区セミナー	
6月5日 火			337-C地区セミナー	
6月6日 水			未定	
6月7日 木			離日	
国際大会 シカゴ				
7月18日 水	東京着		東京着	
7月19日 木	V2(東京)セミナー		V2(東京)セミナー	
7月20日 金				
7月21日 土	V1(札幌)セミナー		V1(札幌)セミナー	
7月22日 日				
7月23日 月	V4(熊本)セミナー		V4(熊本)セミナー	
7月24日 火	V4(山口)セミナー		V4(山口)セミナー	
7月25日 水				
7月26日 木	334-A地区セミナー		334-A地区セミナー	
7月27日 金	V3セミナー(MD335)		V3セミナー(MD335)	
7月28日 土			336-B地区セミナー	
7月29日 日	V3セミナー(MD334)		V3セミナー(MD334)	
7月30日 月				
7月31日 火			離日	

2007年4月9日現在

複合地区会則改正(案)

(改正案)	現行
第 1 章 複合地区 第 5 条 複合地区ガバナー協議会	
1. 複合地区にはガバナー協議会を設ける。その構成員は、<u>議長および複合地区内のすべての地区ガバナー</u>とする。 2. ガバナー協議会の役員は、議長、副議長、幹事および会計、並びに協議会が必要と認めたその他の者とする。 3. 協議会議長を含む、協議会の各構成員は 1 票を投じる権利を有する。協議会議長は 1 年任期を 1 期のみ務めるものとし、この役職を再び務めることはできない。 4. 地区ガバナー・エレクトは会合を開いて、<u>現地区ガバナーおよび前地区ガバナー</u>の中から、議長を選任または選出する。 5. すべての新役員は、複合地区大会終了までに、<u>地区ガバナー・エレクト</u>によって選ばれる。 6. 議長はガバナー協議会を代表し...(以下略)	(ライオンズ必携第 46 版 P.123-124) 1. 複合地区にはガバナー協議会を設ける。その構成員は、複合地区内のすべての地区ガバナーとする。地区ガバナー・エレクトは会合を開いて、<u>議長就任時に前・元地区ガバナーとなる者</u>の中から、議長を選任または選出する。協議会議長を含む、協議会の各構成員は 1 票を投じる権利を有する。協議会議長は 1 年任期を 1 期のみ務めるものとし、この役職を再び務めることはできない。 2. ガバナー協議会の役員は、議長、副議長、幹事および会計、並びに協議会が必要と認めたその他の者とする。すべての新役員は、<u>前年度の複合地区大会終了までに、協議会の選挙</u>によって選ばれる。 3. 議長はガバナー協議会を代表し...(以下略) (文言を整理し、条文を分割する。3 項以下の番号を繰り下げる。)
別表 1	
(前略) 333 複合地区 333-A 地区 新潟県 333-B 地区 栃木県 333-C 地区 千葉県 333-D地区 群馬県 <u>333-E地区 茨城県</u>	(ライオンズ必携第 46 版 P.143) (前略) 333 複合地区 333-A 地区 新潟県 333-B 地区 栃木、<u>茨城</u>の各県 333-C 地区 千葉県 333-D地区 群馬県 (地区分割が 2006 年秋季国際理事会で承認されたので、左記のとおり改正する。)

(2007 年 4 月 9 日第 9 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議で第 5 条 4 項が修正された。)

国際理事立候補者推薦手続規則改正(案)

(改正案)	現行
第 2 章 国際理事候補者選挙管理委員会 4.推薦要望書の提出(2)	
(2) 推薦要望書には、次の書類が含まれていなければならない。 (a) 候補者の氏名、履歴、所信 (b) <u>所属する地区および複合地区</u>年次大会の決議書 (c) クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書	(ライオンズ必携第 46 版 P.148) (2) 推薦要望書には、次の書類が含まれていなければならない。 (a) 候補者の氏名、履歴、所信 (b) 複合地区および地区年次大会の決議書 (c) クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書 (候補者の推薦手続きの順番は、所属する準地区大会での推薦が得られた後に複合地区大会の推薦を得なければならないため、文言を正確なものとする。)

国際第 2 副会長立候補者推薦手続規則改正(案)

(改正案)	現行
第 2 章 国際第 2 副会長候補者選挙管理委員会 4.推薦要望書の提出(2)	
(2) 推薦要望書には、次の書類が含まれていなければならない。 (a) 候補者の氏名、履歴、所信 (b) <u>所属する地区および複合地区</u>年次大会の決議書 (c) クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書	(ライオンズ必携第 46 版 P.153) (2) 推薦要望書には、次の書類が含まれていなければならない。 (a) 候補者の氏名、履歴、所信 (b) 複合地区および地区年次大会の決議書 (c) クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書 (候補者の推薦手続きの順番は、所属する準地区大会での推薦が得られた後に複合地区大会の推薦を得なければならないため、文言を正確なものとする。)

(2007 年 2 月 23 日現在)